

最近の静岡県金融経済の動向 (2018年12月)

(概況)

県内の景気は緩やかに拡大している。

最終需要の動向をみると、設備投資は増加が続いている。また、輸出は振れを伴いながらも緩やかに増加しているほか、公共投資は増加している。個人消費は雇用・所得環境が緩やかに改善する中、持ち直しの動きが幾分強まっている。住宅投資は下げ止まっている。









こうした下で、企業の生産は緩やかに増加している。

雇用・所得環境をみると、労働需給は引き締まった状態が続いているほか、所得は緩やかな増加が続いている。

消費者物価（除く生鮮食品）は前年を上回っている。

12月短観でみた企業の業況感は、改善傾向が維持されている。

(管内金融経済概況早見表)

項目		前回からの変化※
全体判断		
1. 需要項目別の動向	(1) 個人消費	
	(2) 公共投資	
	(3) 設備投資	
	(4) 住宅投資	
	(5) 輸出	
2. 生産、雇用・所得、物価の動向	(1) 生産	
	(2) 雇用・所得	

本件に関する問い合わせ先

日本銀行静岡支店営業課 TEL 054-273-4106、FAX 054-275-0001

※前回からの変化 改善  横ばい  悪化 

1. 需要項目別の動向

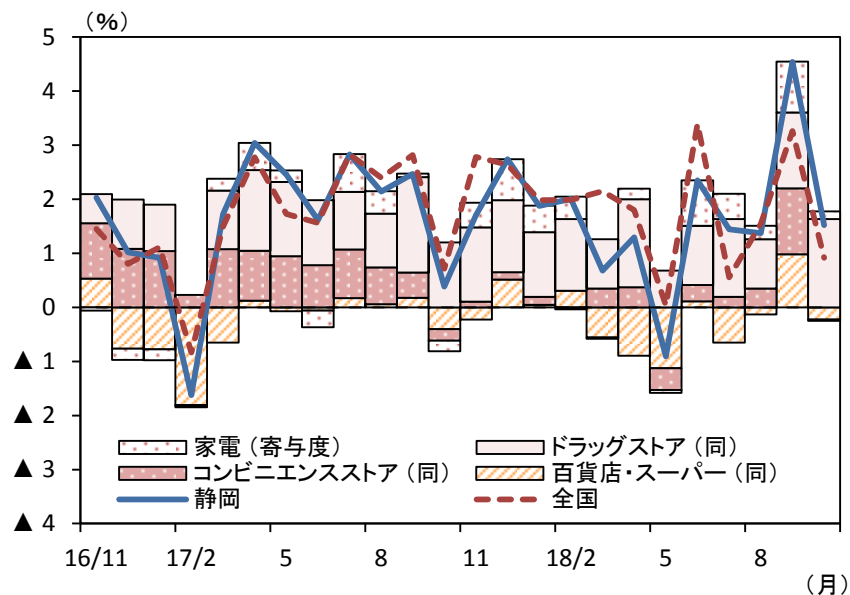
(1) 個人消費（前回からの変化：➡）

○ 雇用・所得環境が緩やかに改善する中、持ち直しの動きが幾分強まっている。

▽個別項目の動向

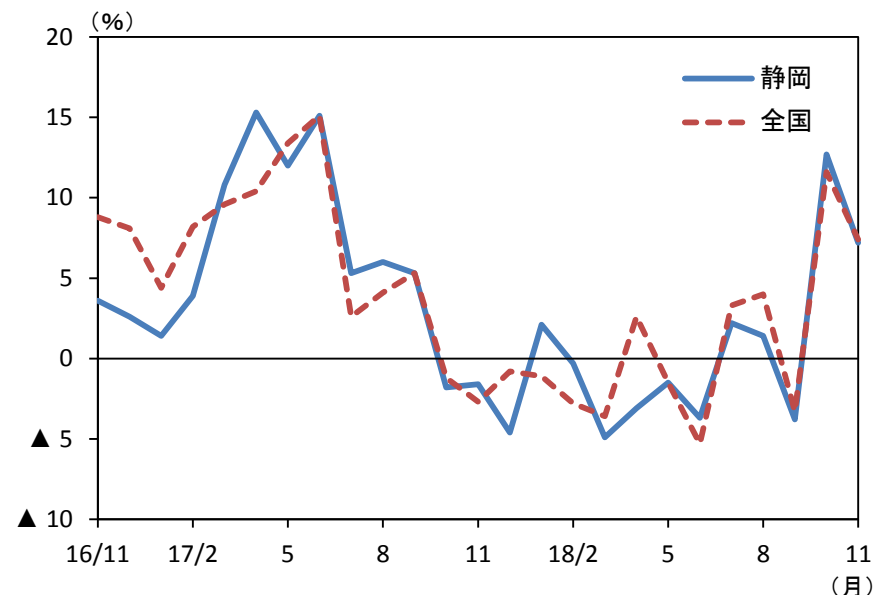
(前回からの変化)			(前回からの変化)		
百貨店・スーパー 売上高	持ち直しつつある。	➡	新車登録台数・ 新車販売台数	普通・小型乗用車は弱めの動きの中、持ち直しの兆しがみられている。軽乗用車は増加している。	➡
コンビニエンス ストア売上高	緩やかに増加している。	➡	家電販売額	増加している。	➡
ドラッグストア 売上高	増加している。	➡	旅館・ホテルの 宿泊客数	緩やかに持ち直している。	➡

主要小売業販売額・前年比



(注) 百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額、ドラッグストア販売額、家電大型専門店販売額の合計値
(出所) 経済産業省

乗用車新車登録台数（含む軽）・前年比



(出所) 日本自動車販売協会連合会静岡県支部、静岡県軽自動車協会、日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会

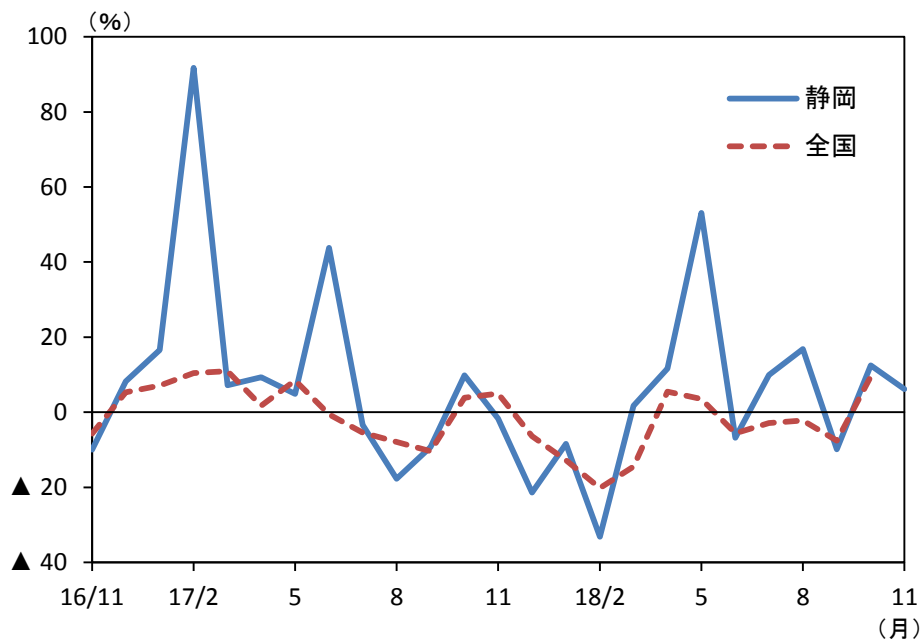
(2) 公共投資（前回からの変化：➡）

○ 増加している。

(3) 設備投資（前回からの変化：➡）

○ 能力増強投資のほか、生産性向上関連や研究開発関連の投資がみられるなど、増加が続いている。

公共工事請負金額・前年比




(注) 静岡は東日本建設業保証の取扱分。全国は北海道建設業信用保証、東日本建設業保証、西日本建設業保証の取扱分
(出所) 東日本建設業保証


短観：設備投資額（含む土地投資）・前年度比

		(%)		
		17年度	18年度	
		実績	計画	修正率
静岡県	全産業	2.8	8.5	▲ 3.3
	製造業	3.2	9.6	▲ 3.5
	非製造業	2.3	7.2	▲ 3.0
全国	全産業	4.4	10.4	1.7
	製造業	6.3	15.4	▲ 0.9
	非製造業	3.4	7.5	3.3

(出所) 日本銀行静岡支店、日本銀行

(4) 住宅投資（前回からの変化：  ）

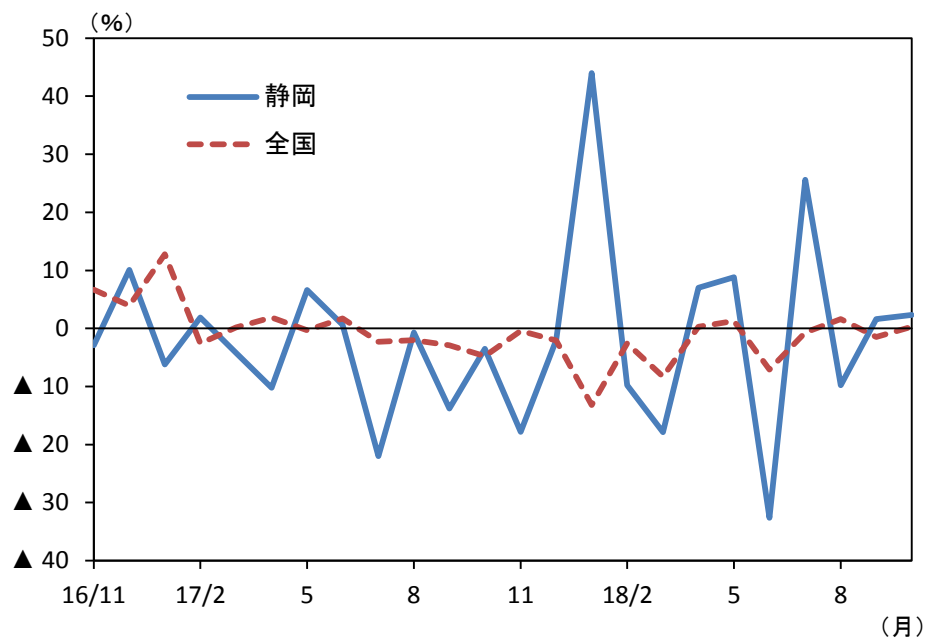
○ 下げ止まっている。

(5) 輸出（前回からの変化：  ）

○ 振れを伴いながらも緩やかに増加している。

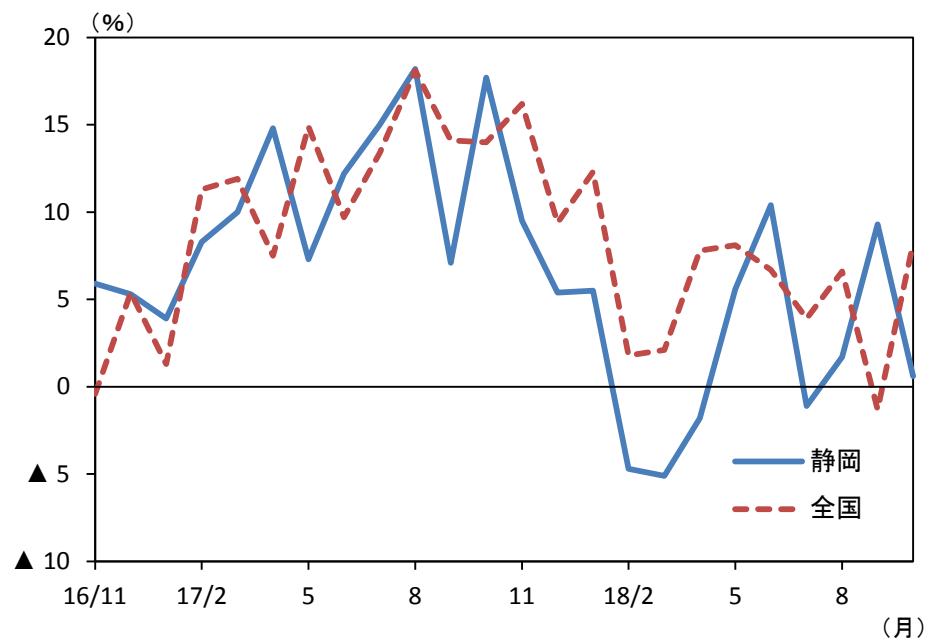
- ・ 輸出額は、春先以降、輸送用機械や電気機械において一時的に前年を下回ったが、その後、緩やかに増加している。

新設住宅着工戸数・前年比



(出所) 国土交通省

輸出額・前年比



(注) 静岡の輸出額は清水港、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4港合計値

(出所) 清水税関支署、財務省

2. 生産、雇用・所得、物価の動向

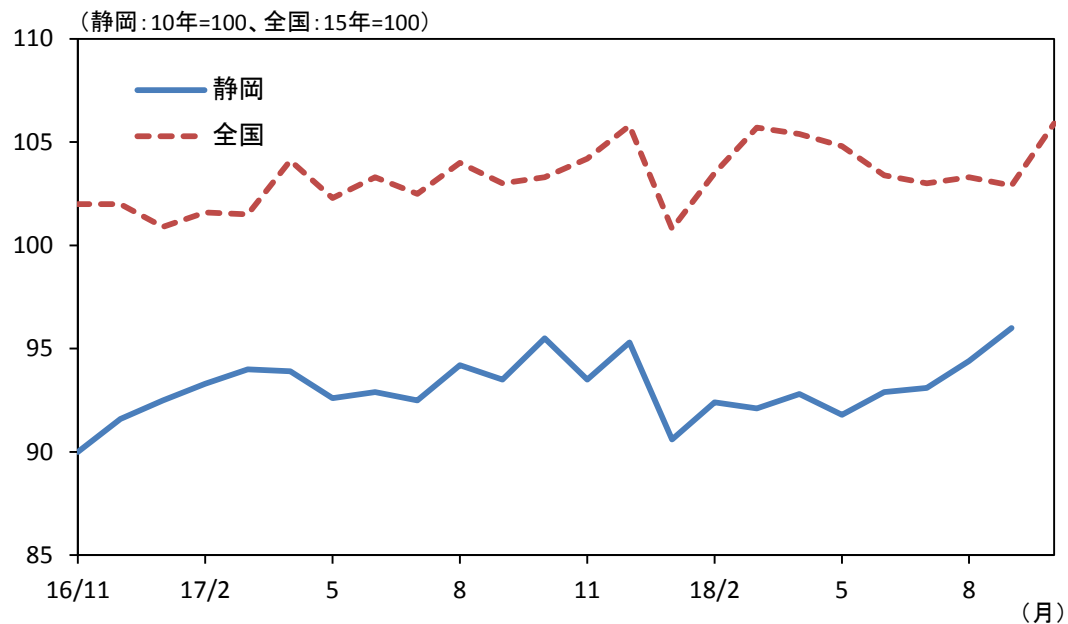
(1) 生産（前回からの変化： → ）

○ 緩やかに増加している。

▽個別項目の動向

▽個別項目の動向			▽個別項目の動向		
		(前回からの変化)			(前回からの変化)
自動車・同部品	緩やかに増加している。	→	化学	増加している。	→
二輪車・同部品	低調な動きが続いている。	→	はん用・生産用・業務用機械	持ち直しつつある。	→
食料品	緩やかに増加している。	→	紙・パルプ	横ばい圏内の動きとなっている。	→
電気機械	増勢を強めている。	→	楽器	持ち直している。	↗

鉱工業指数・生産



(注) 静岡は10年基準、全国は15年基準。季節調整済
(出所) 静岡県、経済産業省

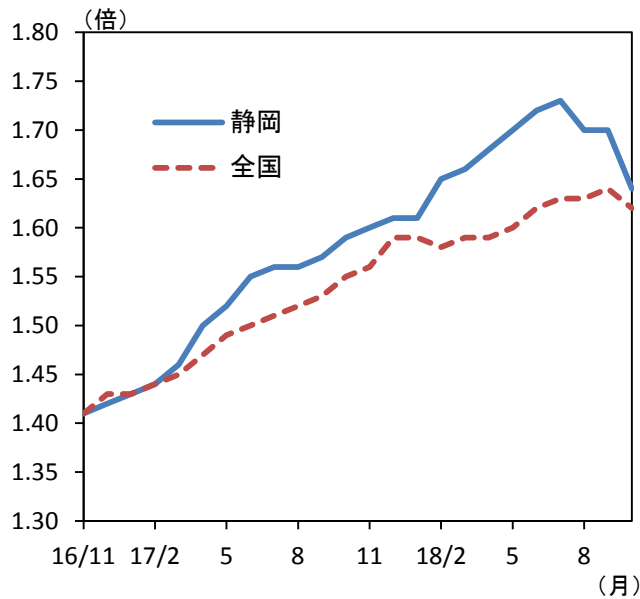
(2) 雇用・所得（前回からの変化：➡）

- 労働需給：有効求人倍率、新規求人倍率は高い水準にあり、引き締まった状態が続いている。（➡）
- 雇用者所得：緩やかな増加が続いている。（➡）
 - ・ 一人当たり名目賃金は緩やかな増加が続いている。常用労働者数は緩やかに増加している。

(3) 物価

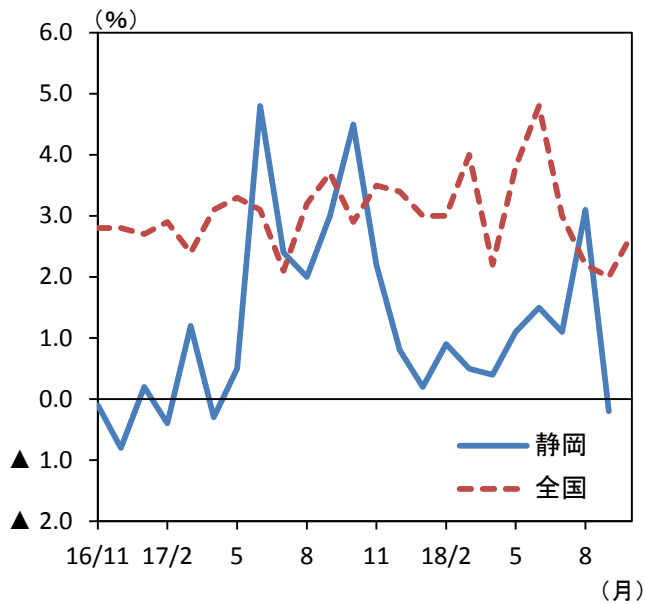
- 前年を上回っている。

有効求人倍率



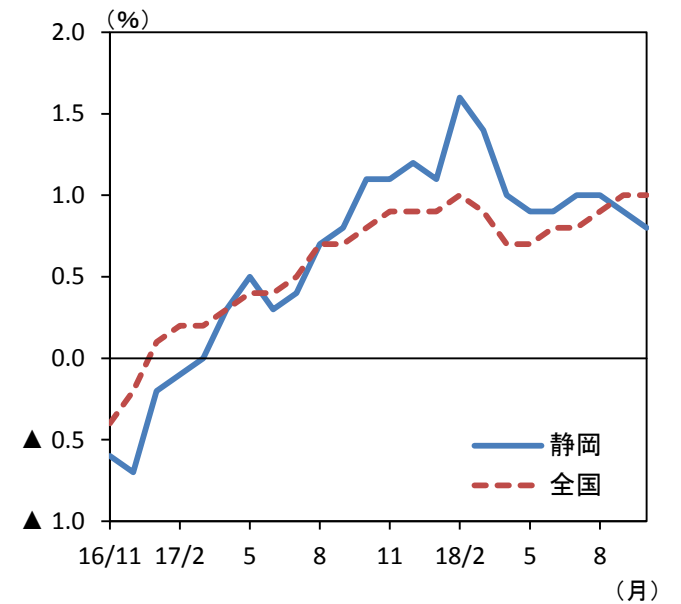
(注) 季節調整値
(出所) 静岡労働局、厚生労働省

雇用者所得・前年比



(注) 15年基準、事業所規模5人以上、全産業
(出所) 静岡県、厚生労働省

消費者物価指数(除く生鮮食品)・前年比



(注) 15年基準、静岡は静岡市
(出所) 総務省

3. 企業倒産、金融面の動向

(1) 企業倒産（負債総額 10 百万円以上）

○ 件数、負債総額ともに総じて落ち着いている。

(2) 預金

○ 引き続き増加している。

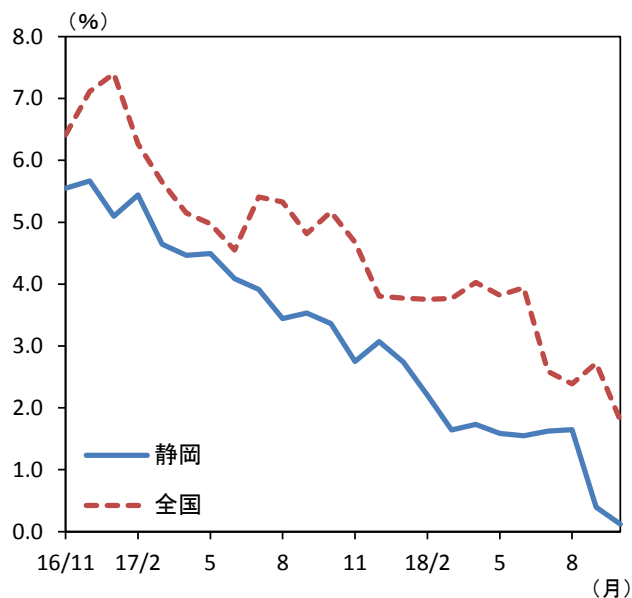
(3) 貸出

○ 減少している。

(4) 貸出約定平均金利（地元地銀・第二地銀 4 行ベース、総合・ストックベース）

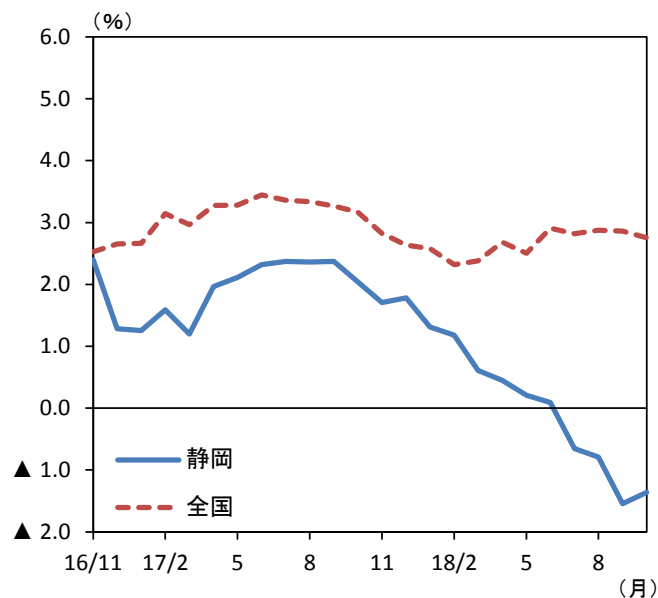
○ 前月比低下した。

実質預金・末残前年比



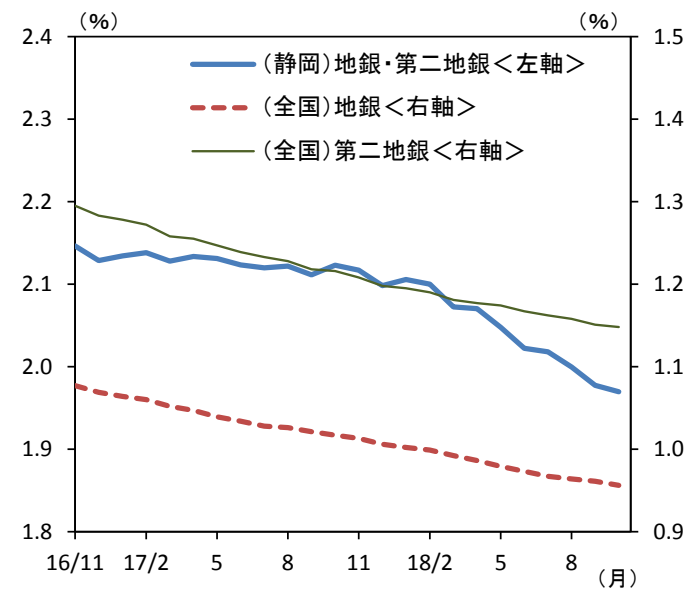
(出所) 日本銀行静岡支店、日本銀行

貸出・末残前年比



(出所) 日本銀行静岡支店、日本銀行

貸出約定平均金利（ストックベース）



(出所) 日本銀行静岡支店、日本銀行

以 上

静岡県内主要金融経済指標

計表1 (注1)

▽個人消費 (前年比%)

	18/6月	7月	8月	9月	10月	11月
主要小売業販売額 (注2、3)	2.3	1.4	1.4	4.5	1.5	n.a.
百貨店・スーパー販売額 (注3)	0.3	▲1.9	▲0.4	2.7	▲0.6	n.a.
百貨店販売額 (注3)	2.1	▲7.5	1.9	▲0.2	▲1.6	n.a.
スーパー販売額 (注3)	▲0.1	▲0.4	▲0.8	3.4	▲0.4	n.a.
コンビニエンスストア販売額 (注3)	0.9	0.6	1.0	3.6	▲0.1	n.a.
ドラッグストア販売額 (注3)	4.9	6.9	4.3	6.4	7.4	n.a.
家電大型専門店販売額 (注3)	9.8	4.1	2.7	10.8	1.7	n.a.
乗用車新車登録台数(含む軽)	▲3.7	2.2	1.4	▲3.8	12.7	p 7.2
乗用車新車登録台数(除軽)	▲9.9	▲0.9	▲4.1	▲3.7	15.4	9.2
軽乗用車新車販売台数	7.1	6.9	9.9	▲4.0	9.3	p 4.3
延べ宿泊者数	p 6.6	p ▲1.2	p 3.1	p 0.7	n.a.	n.a.

(出所)経済産業省、日本自動車販売協会連合会静岡県支部、静岡県軽自動車協会、観光庁

▽公共投資 (前年比%)

	18/6月	7月	8月	9月	10月	11月
公共工事請負金額	▲6.8	9.9	16.8	▲9.9	12.5	6.2

(出所)東日本建設業保証

▽設備投資 (前年度比%)

		土地投資を含むベース			研究開発投資等を含むベース(注4)		
		16年度	17年度	18年度計画	16年度	17年度	18年度計画
短観・設備投資額	全産業	▲0.5	2.8	8.5	▲0.6	5.3	10.8
	製造業	0.1	3.2	9.6	▲0.4	6.8	11.7
	非製造業	▲1.2	2.3	7.2	▲1.3	1.4	8.1

(出所)日本銀行静岡支店

▽企業収益 (前年度比%)

	16年度	17年度	18年度計画	
短観・経常利益	全産業	7.9	18.8	▲3.6
	製造業	8.1	24.9	▲3.6
	非製造業	7.0	▲5.6	▲3.6

(出所)日本銀行静岡支店

pは速報値、rは改訂値

(注1) 計表1は、日本銀行静岡支店作成統計、転載統計とも、原則として資料出所の資料を基に本店で機械計算を行っています。このため、単位未満の数字のみの場合には、マイナス符号は表示されません。また、転載統計については、資料出所が公表・掲載している計数と、計数の末尾の値が異なる可能性があります。

(注2) 百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額、ドラッグストア販売額、家電大型専門店販売額を合算

(注3) 全店ベース

(注4) ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)

▽住宅投資 (前年比%)

	18/6月	7月	8月	9月	10月	11月
新設住宅着工戸数	▲32.6	25.6	▲9.8	1.6	2.3	n.a.

(出所)国土交通省

▽輸出 (前年比%)

	18/6月	7月	8月	9月	10月	11月
輸出額(注5)	10.4	▲1.1	1.7	9.3	p 0.6	n.a.

(出所)清水税関支署

▽生産 (前月比%)

	18/6月	7月	8月	9月	10月	11月
鉱工業指数・生産 季節調整済(注6)	1.2	0.2	1.4	p 1.7	n.a.	n.a.

(出所)静岡県

▽雇用・所得 (倍、前年比%)

	18/6月	7月	8月	9月	10月	11月
有効求人倍率 季節調整済	1.72	1.73	1.70	1.70	1.64	n.a.
常用労働者数(常用雇用指数a)(注7)	0.8	1.1	1.0	0.9	n.a.	n.a.
一人当たり名目賃金(名目賃金指数b)(注7)	0.7	0.0	2.1	▲1.1	n.a.	n.a.
雇用者所得(a×b)(注7)	1.5	1.1	3.1	▲0.2	n.a.	n.a.

(出所)静岡労働局、静岡県

▽物価 (前年比%)

	18/6月	7月	8月	9月	10月	11月
消費者物価指数(除く生鮮食品)(注8)	0.9	1.0	1.0	0.9	0.8	n.a.

(出所)総務省

▽業況感 (「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント)

	18/9月	12月	19/3月予測
短観・業況判断D.I.(注9)	14	14	10

(出所)日本銀行静岡支店

(注5) 清水港、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4港合計値

(注6) 10年基準

(注7) 15年基準、事業所規模5人以上、全産業

(注8) 15年基準、静岡市

(注9) 全産業

計表 2

▽倒産

(件、億円、%)

	18/6月	7月	8月	9月	10月	11月
倒産 件数(注1)	27	16	22	10	20	17
前年比	17.3	▲40.7	4.7	▲56.5	▲13.0	▲19.0
倒産 負債総額(注1)	53	20	23	6	35	22
前年比	81.8	▲33.5	38.5	▲57.5	1.2	▲73.3

(出所)東京商工リサーチ静岡支店

▽預金

(前年比%、億円)

	18/6月	7月	8月	9月	10月	月末残高
実質預金 末残(注2)	1.5	1.6	1.6	0.4	0.1	225,586
銀行	0.8	1.0	1.0	▲1.0	▲1.3	144,635
都銀	▲1.8	▲1.4	▲1.1	▲9.9	▲9.5	18,456
地銀・第二地銀	1.5	1.5	1.4	0.5	0.1	121,336
信金	2.9	2.9	2.9	3.0	2.8	80,951

(出所)日本銀行静岡支店

▽貸出

(前年比%、億円)

	18/6月	7月	8月	9月	10月	月末残高
貸出 末残(注3)	0.1	▲0.7	▲0.8	▲1.5	▲1.4	137,361
銀行	▲0.4	▲1.4	▲1.6	▲2.4	▲2.1	99,154
都銀	▲2.5	▲4.7	▲6.3	▲6.0	▲5.0	10,401
地銀・第二地銀	▲0.2	▲1.0	▲1.0	▲1.9	▲1.8	87,686
信金	1.5	1.3	1.3	0.6	0.7	38,206

(出所)日本銀行静岡支店

(注1) 倒産は負債総額10百万円以上の合計

(注2) 当店当座預金取引先の県内所在店舗ベース、実質預金＝表面預金(譲渡性預金は含まない)－小切手・手形

(注3) 当店当座預金取引先の県内所在店舗ベース

(注4) 地元16行庫の県内所在店舗ベース

▽貸出約定平均金利

(水準%)

	18/6月	7月	8月	9月	10月	11月	
貸出約定平均金利 (ストックベース) (注4)	地銀・第二地銀	2.022	2.018	1.999	1.977	1.970	n.a.
	信金	1.456	1.452	1.448	1.441	1.441	n.a.

(出所)日本銀行静岡支店

▽銀行券

(億円)

	18/6月	7月	8月	9月	10月	11月
受入額	1,016	1,170	1,240	1,017	1,157	1,115
支払額	1,349	1,196	1,355	1,274	1,286	1,523
受払(▲)超過額	▲333	▲26	▲115	▲257	▲129	▲408

(出所)日本銀行静岡支店